

パラリンピック公式種目 「ボッチャ」に親子でチャレンジ

【邑南町立日貫小学校:PTA 研修部】

ねらい

パラリンピアンとの交流を通し、障がいや福祉教育への理解を深める。

いつ

令和2年10月24日(土)

どこで

邑南町立日貫小学校

だれが

全校児童・教職員・保護者 34人

※講師…藤田 英二氏

[山口県障害者スポーツ協会 会長]

なにを

- パラリンピックに関する講話
- ボッチャ体験(パラリンピック競技)

概要

- ・児童と保護者、そして教職員と一緒にパラリンピック競技についての話を聴いたり、ボッチャ体験をしたりしてパラリンピックの理念や価値を学ぶ。
- ・講演内容やパラスポーツの体験を通して、相手に対する配慮や日常生活におけるユニバーサルデザインに気付くきっかけとする。
- ・今回の学習を通して東京大会への気運醸成を図るとともに、人権・同和教育、福祉教育の推進につなげる。



人権・同和教育に関する授業公開にあわせ、PTA 研修として児童・保護者・教職員と一緒にパラリンピック種目にチャレンジしました。一投ごとにチームがひとつになっていき、参加者のガッツポーズ、一緒に歓声を上げる姿が印象的で、「どんな人でも楽しめるスポーツ。どんな工夫があるのか知ってほしい。」という講師からのメッセージを体験を通じて学びました。また、講演では、共生社会について考えるだけでなく、人間の可能性に挑戦するパラリンピックの素晴らしさにも気付くとともに、最後まであきらめない姿勢の大切さを学びました。